

## (10) 倉敷芸術科学大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2026年4月10日	～	2026年8月6日
	後期	2026年9月25日	～	2027年2月2日
授業時間	1限	09:10	～	10:40
	2限	10:50	～	12:20
	3限	13:10	～	14:40
	4限	14:55	～	16:25
	5限	16:40	～	18:10

### ② アクセス(案内図)

#### 倉敷芸術科学大学へ

##### 【JR(新幹線・山陽本線 新倉敷駅)】

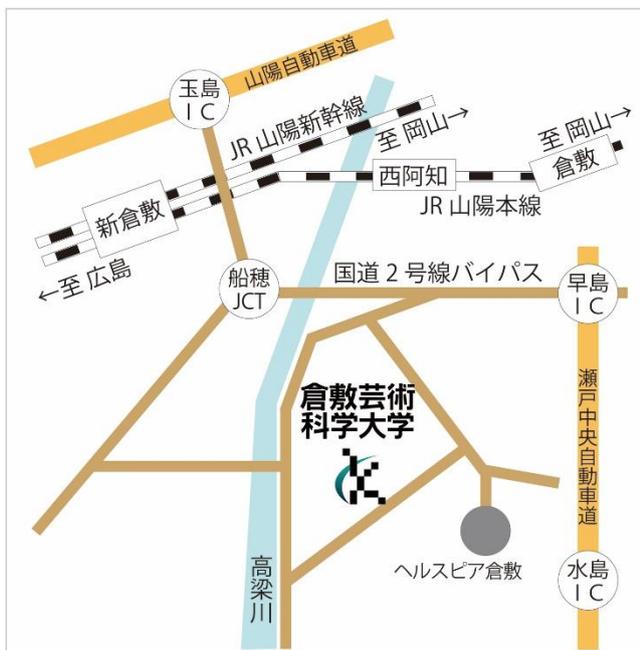
大学の最寄り駅はJR新倉敷駅です。

JR岡山駅からは山陽本線で新倉敷駅まで約25分です。

##### 【バス・タクシー(新倉敷駅～大学)】

新倉敷駅から大学までは定期バスが運行されています。

倉敷駅からもバスは運行されています。なお、タクシー利用の場合、新倉敷駅から約12分です。



倉敷芸術科学大学公式HP「大学へのアクセス」

(<https://www.kusa.ac.jp/about-university/access/>)

③ 担当窓口

学務部教務課	
所在地:	本館(3号)2階
電話:	086-440-1117

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

本学では、申込を以下の期限まで受け付けます。ただし、所属大学によって、提出期間が別に定められている場合は、その指示に従ってください。  
前期:3月27日(金)まで 後期:9月11日(金)まで

・ 履修手続

対面授業科目を履修する方

講義室等をお知らせしますので、初回授業までに時間の余裕を持って教務課(3号館2階)へ来てください。

・ 施設利用

倉敷芸術科学大学在学の学生と同じ扱いとします。図書館・食堂等が利用可能です。

・ 特記事項

--

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://www.kusa.ac.jp/student/websyllabus-info/>

・対面授業科目

対面授業(教養科目)			10001
地域デザイン			橋元 純也
Regional Design			
履修年次 1～4	2単位	後期	1コマ
<p><b>【授業の目的】</b>            本科目は、卒業後もみずからの資質を向上させて社会的・職業的自立を図るために必要な能力や態度を育成するキャリアデザイン科目群のひとつである。倉敷地域に根ざす大学で学ぶ自覚を持ちながら、地域社会の自立した構成員として生活・活動するための地域デザインの視点を身につけることを目的とする。</p> <p>倉敷市および他地域の歴史・文化・特徴、まちづくりの理念・施策・取りくみ事例などについて、地域講師から直接聴いて理解するとともに、それを題材に、他地域へも活用できる一般的な地域デザインの視点について、自分なりの考えを深めていく。さらに、美観地区およびその周辺を対象にまちあるきをおこなった成果について報告資料を作成し、まちの来訪者・ユーザー・消費者としての視点も身につける。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 倉敷市その他におけるまちづくりの取りくみ事例について、理解し説明できる。</li> <li>2. まちづくりの取りくみ事例をふまえ、一般的な地域デザインについて考えを表現できる。</li> <li>3. まちの来訪者・ユーザー・消費者としての視点を身につけるために、まちあるきを実践できる。</li> <li>4. 明快な内容のまちあるき報告資料を作成するとともに、他者の報告資料を適切に評価できる。</li> </ol> <p><b>【授業外学習】</b>            学習時間の目安: 合計 60 時間            美観地区およびその周辺におけるまちあるきを実践し、報告資料を作成・提出する。提出は第 1 次期限(10 月末)、第 2 次期限(12 月末)のいずれかまでに、指定する方法でおこなう。作成中および提出後においても随時の指導を受けること。</p> <p><b>【注意事項】</b>            なし</p>			
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>01. 科目概要ガイダンス / まちあるき報告について</li> <li>02. 倉敷に宿る大原精神</li> <li>03. 倉敷の歴史と文化</li> <li>04. 倉敷のまちづくり</li> <li>05. 災害への対処</li> <li>06. SDGs をジブンゴト化</li> <li>07. 中間まとめ① / まちあるき報告①</li> <li>08. 倉敷の歴史と歴史資料整備室の活動</li> <li>09. 倉敷の歴史的都市環境と地域デザイン</li> <li>10. まちづくりはまちで遊ぶことから</li> <li>11. ゲストハウスによるまちづくり</li> <li>12. 中間まとめ② / まちあるき報告②</li> <li>13. 江戸宿場町を復活させる矢掛屋の取り組み</li> <li>14. 高松丸亀町商店街の再開発</li> <li>15. 期末まとめ / まちあるき報告③</li> </ol>			
<p><b>【テキスト】</b> 教科書を使用しない。</p>			
<p><b>【参考図書】</b> なし。</p>			
<p><b>【成績評価の方法】</b>            取りくみと提出物の状況・内容を以下のように評価し、総合計 60 点以上を合格とする。            第 01～07 回の取りくみと提出物の状況・内容(35%) : 到達目標 1・2 を評価            第 08～15 回の取りくみと提出物の状況・内容(45%) : 到達目標 1・2 を評価            まちあるき報告の状況・内容(20%) : 到達目標 3・4 を評価</p>			

対面授業(芸術学部)			10002
メディア・アート論			大森 隆
Media Art Theory			
履修年次1~4	2単位	後期	1コマ
<p><b>【授業の目的】</b>          新しいメディア環境に対応した芸術表現として様々なメディア・アート作品を紹介し、テクノロジーとアートの関係を理解し、メディア・アートの本質を考察する。          メディア・アートとは、工学などの先端技術を取り入れたアートで、近年はコンピュータをはじめとするデジタルメディアの発展に伴い、インタラクティブアートが注目されている。</p> <p><b>【アクティブラーニング】</b>          各分野のメディア・アートについて調べ、プレゼンテーションによる発表を行う。</p> <p><b>【フィードバック】</b>          課題に対する講評等のフィードバックを含めた指導を行う。</p> <p><b>【到達目標】</b>          1 多様なメディア・アートを理解し説明できる。          2 テクノロジーとアートの関係を理解し説明できる。</p> <p><b>【授業外学習】</b>学習時間の目安: 合計 60 時間          ・各分野のメディア・アートについて調べ理解を深める。          ・授業内で発表を行うために調査と準備を行う。</p>			
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. メディア・アートとは？</li> <li>2. メディア・アートの動向と作品紹介(メディア芸術祭 2022 年度)</li> <li>3. メディア・アートの動向と作品紹介(メディア芸術祭 2021 年度)</li> <li>4. メディア・アートの動向と作品紹介(メディア芸術祭 2020 年度)</li> <li>5. メディア・アートの動向と作品紹介(メディア芸術祭 2019 年度)</li> <li>6. メディア・アートの動向と作品紹介(メディア芸術祭 2018 年度)</li> <li>7. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 昨年)</li> <li>8. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 2 年前)</li> <li>9. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 3 年前)</li> <li>10. メディア・アートの動向と作品紹介(Ars Electronica 最新)</li> <li>11. 受講者 発表準備(1)</li> <li>12. 受講者 発表準備(2)</li> <li>13. 受講者 発表(1)</li> <li>14. 受講者 発表(2)</li> <li>15. 受講者 発表(3)</li> </ol>			
<p><b>【テキスト】</b>          なし。</p>			
<p><b>【参考図書】</b>          なし。</p>			
<p><b>【成績評価の方法】</b>          授業に取り組む態度・姿勢(40%)、発表内容(60%)に基づいて総合的に評価する。          到達目標1は授業に取り組む態度・姿勢から、到達目標2は発表内容により評価する。          総合計 60 点以上を合格とする。</p>			

対面授業(芸術学部)			10003
絵画基礎 I (A)			原田 よもぎ
Basic Painting I			
履修年次1~4	2単位	前期	2コマ
<p><b>【授業の目的】</b>          絵画の基礎となるデッサンやスケッチを行う。          実際に絵画を描くための道具や素材に触れ、自然観察やデッサンやスケッチをすることの意味を体験、理解する。          デッサンやスケッチを行うことで絵画や造形を見る能力を高め今後の創造活動へのセンスを磨き、さまざまな分野への足がかりとすることを目標とする。  <b>【アクティブラーニング】</b>グループディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーションを取り入れている。  <b>【フィードバック】</b>演習課題の講評や省察などのフィードバックを含めた指導を行う。  <b>【到達目標】</b>          1.画材の成り立ちや性質を説明でき、その使用方法を関係づけることができる。(知識)          2.形、素材の違いを類別し、それらの基本的な表現ができる。(技術力)          3.質感表現、空間表現、構図など画面全体を意識した表現ができる。(表現力)  <b>【授業外学習】</b>          ・授業外学習のための課題を出し、その課題について講評する。          ・学習時間の目安:合計 60 時間  <b>【注意事項】</b>          ・描画材料で汚れる場合があるため、作業にふさわしい服装、準備を行うこと。          ・鉛筆、練り消し、消しゴム、スケッチブック、色鉛筆、水彩絵の具は各自準備すること。</p>			
<p><b>【授業内容】</b>          第1回 オリエンテーション／スケッチ1:葉を描く          第2回 スケッチ2:植物を描く          第3回 スケッチ3:ガラスを描く          第4回 スケッチ4:風景(1点透視図法)          第5回 スケッチ5:風景(2点透視図法)          第6回 作品制作:「風景と何か」1          第7回 作品制作:「風景と何か」2          第8回 作品制作:「風景と何か」3          第9回 講評会          第10回 講評会／人体クロッキー          第11回 人体クロッキー          第12回 デッサン1:紙コップ、植物          第13回 デッサン2: ガラス、布          第14回 デッサン3: 金属、野菜          第15回 デッサン4: 組み合わせ</p>			
<p><b>【テキスト】</b>          使用しない。</p>			
<p><b>【参考図書】</b>          授業の中で適宜紹介する。</p>			
<p><b>【成績評価の方法】</b>          以下のように成績を評価し、総合計 60 点以上を合格とする。          ・提出作品 70%(到達目標2・3を評価)          ・授業内でのプレゼンテーション、質疑応答 30%の割合で評価。(到達目標1を評価)          この授業では課題の提出が必須条件です。提出していない場合は評価の対象となりません。</p>			

対面授業(芸術学部)			10004
絵画基礎 I (B)			原田 よもぎ
Basic Painting I			
履修年次1～4	2単位	前期	2コマ
<p><b>【授業の目的】</b>          絵画の基礎となるデッサンやスケッチを行う。          実際に絵画を描くための道具や素材に触れ、自然観察やデッサンやスケッチをすることの意味を体験、理解する。          デッサンやスケッチを行うことで絵画や造形を見る能力を高め今後の創造活動へのセンスを磨き、さまざまな分野への足がかりとすることを目標とする。</p> <p><b>【アクティブラーニング】</b>          グループディスカッション、フィールドワーク、プレゼンテーションを取り入れている。</p> <p><b>【フィードバック】</b>          演習課題の講評や省察などのフィードバックを含めた指導を行う。</p> <p><b>【到達目標】</b>          1. 画材の成り立ちや性質を説明でき、その使用方法を関係づけることができる。(知識)          2. 形、素材の違いを類別し、それらの基本的な表現ができる。(技術力)          3. 質感表現、空間表現、構図など画面全体を意識した表現ができる。(表現力)          (一年次自己評価用ルーブリックより)</p> <p><b>【授業外学習】</b>          ・授業外学習のための課題を出し、その課題について講評する。          ・学習時間の目安: 合計 60 時間</p> <p><b>【注意事項】</b>          ・描画材料で汚れる場合があるため、作業にふさわしい服装、準備を行うこと。          ・鉛筆、練り消し、消しゴム、スケッチブック、色鉛筆、水彩絵の具は各自準備すること。</p>			
<b>【授業内容】</b>			
第1回 オリエンテーション／スケッチ1: 葉を描く 第2回 スケッチ2: 植物を描く 第3回 スケッチ3: ガラスを描く 第4回 スケッチ4: 風景(1点透視図法) 第5回 スケッチ5: 風景(2点透視図法) 第6回 作品制作: 「風景と何か」1 第7回 作品制作: 「風景と何か」2 第8回 作品制作: 「風景と何か」3 第9回 講評会 第10回 講評会／人体クロッキー 第11回 人体クロッキー 第12回 デッサン1: 紙コップ、植物 第13回 デッサン2: ガラス、布 第14回 デッサン3: 金属、野菜 第15回 デッサン4: 組み合わせ			
<b>【テキスト】</b>			
使用しない。			
<b>【参考図書】</b>			
授業の中で適宜紹介する。			
<b>【成績評価の方法】</b>			
以下のように成績を評価し、総合計 60 点以上を合格とする。 ・提出作品 70%(到達目標2・3を評価) ・授業内でのプレゼンテーション、質疑応答 30%の割合で評価。(到達目標1を評価) この授業では課題の提出が必須条件です。提出していない場合は評価の対象となりません。			

対面授業(生命科学部)			10005
水族育成学			山野 ひとみ
Aquatic Animal Husbandry			
履修年次3~4	2単位	後期	1コマ
<p><b>【授業の目的】</b>  本授業では、水産養殖・増殖分野および水族館における展示・保全・教育を目的とした水族育成の理論と実践を学ぶ。</p> <p><b>【到達目標】</b>  1 水生生物(魚類・無脊椎動物など)の生理・生態に基づいた育成原理を理解する  2 養殖・増殖と水族館飼育の共通点と相違点を説明できる  3 飼育環境、水質管理、給餌、繁殖、疾病管理の基礎を理解する</p> <p><b>【授業外学習】</b>  学習時間の目安:合計 60 時間  予習:LMS に提示する資料を読む(各回 2 時間)。  復習:授業内容を整理し、課題レポートに取り組む(各回 2 時間)。</p> <p><b>【連絡事項】</b>  特になし</p>			
<p><b>【授業内容】</b>  第 1 回 水族の育成とは  第 2 回 水族の収集と輸送  第 3 回 飼育設備  第 4 回 飼育水の浄化  第 5 回 飼育環境  第 6 回 魚病  第 7 回 水族の餌料  第 8 回 水族の繁殖  第 9 回 水族の発生  第 10 回 水族の保護  第 11 回 水族の保存  第 12 回 水産養殖  第 13 回 水産育種  第 14 回 増殖と栽培漁業  第 15 回 試験</p>			
<p><b>【テキスト】</b>  教科書を使用しない。適宜資料を配布する。</p>			
<p><b>【参考図書】</b>  「改訂 魚類の栄養と餌料」・渡邊 武編・恒星社厚生閣・ISBN 978-4-7699-1082-4  「改訂版 新・飼育ハンドブック 水族館編 1~4 巻」・日本動物園水族館協会  「水族育成学入門」・間野伸宏・鈴木伸洋編著・成山堂・ISBN 978-4-425-83121-0  「魚病学」・児玉 洋監修・緑書房・ISBN 978-4-89531-026-0</p>			
<p><b>【成績評価の方法】</b>  以下のように成績を評価し、総合計 60 点以上を合格とする。  レポート 40%:到達目標 3 を評価  試験 60%:到達目標 1~4 を評価</p>			

対面授業(生命科学部)			10006	
生活習慣病予防			市川 勉	
Prevention of Lifestyle-related Diseases				
履修年次3~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>  生活習慣病(高血圧、糖尿病、脂質異常症等)の成因と予防を、生命科学・健康科学の視点から学ぶ。食事、運動、喫煙、睡眠、ストレスなどの生活習慣が病態形成に及ぼす影響を理解し、一次・二次予防や特定検診、行動変容理論の重要性を解説していくことで、将来の医療・保健・福祉・スポーツ分野で実践できる科学的根拠による生活習慣病予防の考え方を内科学的な視点を交えながら解説し身に付けていくことを目的とする。</p> <p><b>【到達目標】</b>  1 各疾患の基本メカニズムについて理解し説明できる。  2 各疾患を予防する上で生活習慣病として共通する部分と疾病別に分けて考えるべき部分を、運動と食事の知識に基づき系統立てて理解し説明できる。  3 上記を踏まえたうえで、生活習慣病予防について自らの方針を立てることができる。</p> <p><b>【授業外学習】</b>  学習時間の目安:合計60時間  授業の理解度についてLMSで理解度確認チェック(小テスト)を行うので、授業で学んだ内容について復習すること(各4時間)。また予習については、各回講義終了時に指示する。</p> <p><b>【連絡事項】</b>15回目に期末試験を実施する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>  第1回 メタボリックシンドロームの概念と実際  第2回 肥満症の成り立ち  第3回 肥満症によるデメリットとその対策  第4回 脂質異常症、高尿酸血症の成り立ち  第5回 脂質異常症、高尿酸血症への対処法  第6回 糖尿病の原因と仕組み  第7回 糖尿病への対処法  第8回 高血圧症の原因と成り立ち  第9回 高血圧症への対処法  第10回 虚血性心疾患の原因、成因について理解し身体的なりハビリテーション  第11回 呼吸器疾患(慢性閉塞性肺疾患を中心に)生活習慣病について  第12回 ロコモティブシンドローム(ロコモ)運動器、(骨・関節・筋肉・神経)の障害によるリスク・予防  第13回 がん(悪性新生物)の成り立ち、身体に及ぼす影響  第14回 運動器退行性疾患の原因・病態・症状  第15回 軽度認知障害、認知症、その予防や理解</p>				
<p><b>【テキスト】</b>  使用しない(スライドおよび配布資料をもとに授業を行う)</p>				
<p><b>【参考図書】</b>  「はじめて学ぶ 健康・スポーツ科学シリーズ6 健康づくりのための運動の科学」・鶴木 秀夫 編集・化学同人・ISBN:978-4759817102</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>  授業に取り組む姿勢 10%(到達目標1、2)、小テスト 20%(到達目標1、2)、期末試験 70%(到達目標1、2)で評価する。総合点60点以上を合格とする。</p>				

対面授業(生命科学部)			10007	
動物行動学			唐川 千秋	
Animal behavior and psychology				
履修年次3~4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b></p> <p>動物のところが知りたい、動物が何を考えているかわかれば、それに合った対応ができると思うのは当然であるが、それには動物の行動本来にさかのぼって、その意味・成立メカニズムを知る必要がある。擬人的にはなく、客観的に動物の行動が理解できるようになることを目的とする。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <p>(1)動物の行動を生態学的・行動学的知識にもとづいて説明できる。  (2)動物の学習原理を理解する。  (3)さまざまな問題行動の原因と、それらへの対処法を理解する。</p> <p><b>【授業外学習】</b></p> <p>学習時間の目安:各回4時間</p> <p>予習:教科書の指定ページを読み、概略をつかんでおく。教科書に挙げてあるキーワードを調べておく。  復習:各回の復習欄に記載した目標達成に向けて、内容を整理・理解する。  各章末の問題を解く。  指定したキーワードを用いて説明する形式の課題レポートを作成する。</p> <p><b>【授業内容】</b></p> <p>第1回 オリエンテーションー動物行動学、比較心理学とは  予習:P.3-8  復習:進化に関する諸概念、エソロジーについて理解する。</p> <p>第2回 行動の進化と適応  予習:P.8-14  復習:家畜化の過程で起こる形態的・行動的变化について理解する。</p> <p>第3回 維持行動  予習:P.17-26  復習:イヌ・ネコの摂食・排泄行動などについて理解する。</p> <p>第4回 社会行動(1)社会構造、生殖行動、母性行動  予習:P.29-39  復習:群れの構造、生殖戦略、性行動について理解する。</p> <p>第5回 社会行動(2)イヌのコミュニケーション行動  予習:P.40-45  復習:イヌのコミュニケーション・サインについて理解する。</p> <p>第6回 社会行動(3)ネコのコミュニケーション行動  予習:P.46-54  復習:ネコのコミュニケーション・サインについて理解する。</p> <p>第7回 行動発現のしくみ  予習:P.57-70  復習:動機づけ、情動、行動の周期性について理解する。</p> <p>第8回 行動の発達(1)イヌの行動発達  予習:P.73-78  復習:イヌの発達段階ごとの特徴を理解する。</p> <p>第9回 行動の発達(2)ネコの行動発達  予習:P.79-82  復習:ネコの発達段階ごとの特徴を理解する。</p> <p><b>【課題1】</b>2-9回の内容について、グループワークでコンセプトマップを作成する。</p>				

第 10 回 動物の学習原理(1)条件づけ

予習:P83-87

復習:動物心理学史を通して学習心理学成立の背景、条件づけ理論について理解する。

第 11 回 動物の学習原理(2)学習理論の展開

予習:P.88-93

復習:条件づけ理論の展開について理解する。

【課題 2】10-11 回の内容について、グループワークでコンセプトマップを作成する。

第 12 回 問題行動(1)問題行動と行動診療

予習:P.101-108

復習:問題行動の原因と、行動修正に有効な技法を理解する。

第 13 回 問題行動(2)イヌ、ネコにおける問題行動

予習:P.109-130

復習:イヌ・ネコの問題行動の種類と原因、療法について理解する。

第 14 回 問題行動(3)イヌ、ネコにおける問題行動

予習:P.131-154

復習:イヌ・ネコの問題行動の種類と原因、療法について理解する。

【課題 3】12-14 回の内容についてグループで、指定したキーワードを用いて問題行動についてまとめて発表する。

第 15 回 問題行動の予防

予習:P.154-176

復習:問題行動の予防に有効な技法を理解する。

【テキスト】

愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 6 巻

ISBN:978-4-86671-160-7

【参考図書】

日本動物心理学会(監)藤田和生(編著) 2015 動物たちは何を考えている? 技術評論社 ISBN: 9784774172583

藤田和生 2015 誤解だらけの”イヌの気持ち 財界展望新社 ISBN: 978-4-87934-025-2

高木佐保 2021 知りたい! ネコごころ 岩波書店 ISBN:978-4-00-029692-2

【成績評価の方法】

小テスト 3 回、40 点(1 回目は到達目標 1、2 回目は到達目標 2、3 回目は到達目標 3 に対応する)、期末試験 60 点(到達目標 1・2・3)の重みで評価する。総合計 60 点以上を合格とする。

対面授業(生命科学部)				10008
医学概論				渡部 俊幸 他
Intoduction to Medicine				
履修年次1～4	2単位	前期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          医学・医療・臨床検査・臨床検査技師の入門科目として、歴史から最新情報を講義する。本講義で医学の大切さ、医療の仕組み、臨床検査の重要性、臨床検査技師の業務内容の基礎知識を学ぶことを目的とする。</p> <p><b>【到達目標】</b>          1.医療における臨床検査技師の役割、業務内容、職場を説明できる。          2.人体の構造および癌について説明できる。          3.DNA、RNA、遺伝子について説明できる。          4.免疫および感染症について説明できる。          5.血球・免疫・凝固について説明できる。</p> <p><b>【授業外学習】</b>          学習時間の目安:復習を中心に合計 60 時間程度          ・講義内容は最新情報や時事問題についても取り上げるため、講義内容をよく聞き、復習を心掛ける。          ・講義内容の関連事項について自ら調べて、知識や理解を広げておく。          ・医療に関する新聞記事、ニュースに関心をもち、現代の医療状況、方向性、問題点を知る。</p> <p><b>【授業内容】</b>          1. 臨床検査技師とは(三宅)          2. 医学検査・臨床検査のあゆみ(三宅)          3. 病院と病気(三宅)          4. 人体臓器の位置と大きさについて(野島)          5. 人体臓器の働きと機能について(野島)          6. 癌とは(野島)          7. DNAとは、RNAとは(高木)          8. 人類の進化と遺伝子(高木)          9. ゲノム編集と治療(高木)          10. 免疫学概論(山崎)          11. 感染症学総論①(山崎)          12. 感染症学総論②(山崎)          13. 血液細胞の一生と生体防御について(渡部)          14. 血栓止血の不思議について(渡部)          15. 期末試験、授業総括(渡部)          16. 予備日(渡部)</p> <p><b>【テキスト】</b>配布プリント</p> <p><b>【参考図書】</b>          特になし</p> <p><b>【成績評価の方法】</b>          到達目標 1～5 に関して、期末試験(100%)で評価する。総合点 60 点以上を合格とする。</p>				

対面授業(生命科学部)			10009	
解剖学			野島 望	
Anatomy				
履修年次1～4	2単位	後期	1コマ	
<p><b>【授業の目的】</b>          人体の構造と機能を系統的に学び、生命現象を総合的に理解し、関連科目を習得するための基礎能力を養う。          基礎解剖学を基に人体の構造と機能について解説を行う。病気を理解する上で、からだの構造を知ることには不可欠である。臨床検査に必要な基礎的な解剖学の知識を理解し器官の構造と機能を理解する。</p> <p><b>備考</b>          本学 倉敷芸術科学大学障がい学生支援規定に基づき合理的配慮を提供していますので、配慮が必要な場合は事前に相談してください。</p> <p><b>【到達目標】</b>          1. 人体の構造と機能を理解し、病態と関連づけて説明することが出来る。          2. 各臓器の位置関係を立体的に理解し、画像診断につながる知識を習得し説明することが出来る。          3. 疑問に思うことを、自ら調べ自ら学ぶことができる。</p> <p><b>【授業外学習】</b>          学習時間の目安: 合計60時間          ・次回の授業内容を確認し、概略を掴んでおくこと          ・前回の講義の内容についてよく復習しておくこと</p> <p><b>【注意事項】</b>          ・私語、遅刻は厳禁。講義は up-to-date なものとするため、講義日程を変更する場合もある。          ・授業内容を予め提示するので予習 復習に活用する。          ・都度、必要な資料、確認しておくべき Web サイトなどを提示する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 序論: マクロ解剖学、細胞と組織</li> <li>2. 循環器系: 心臓の構造と機能、血管、リンパ管、血液</li> <li>3. 呼吸器系: 気道と肺の構造と機能</li> <li>4. 消化器系1: 食道と胃の構造と機能</li> <li>5. 消化器系2: 小腸と大腸、虫垂の構造と機能</li> <li>6. 消化器系3: 肝臓・胆道・膵臓の構造と機能</li> <li>7. 1～6 回のまとめ</li> <li>8. 泌尿器系: 腎臓と膀胱の構造と機能について</li> <li>9. 内分泌系: 下垂体・甲状腺・副腎の構造と機能</li> <li>10. 生殖器系: 精巣・前立腺・卵巣・子宮の構造と機能</li> <li>11. 造血・免疫系: 血液・骨髄・脾臓・胸腺とリンパ節の構造と機能</li> <li>12. 脳神経系: 中枢神経(脳)、末梢神経の構造と機能</li> <li>13. 感覚器系: 目・耳・鼻・皮膚・舌の構造と機能</li> <li>14. 発生学: 人体の発生</li> <li>15. 期末試験、総括</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>          人体の構造と機能 第6版、上田晃、医歯薬出版          「臨床検査学講座 解剖学」、佐藤健次著、医歯薬出版</p>				
<p><b>【参考図書】</b>          ぜんぶわかる人体解剖図」、坂井建雄、橋本尚詩著、成美堂出版          「人体解剖カラーリングブック」、天野 修、丸善出版”</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          授業時間終了後のリアクションペーパーの提出 10%(到達目標3を評価)と中間試験 40%、期末試験 50%(到達目標1、2を評価)により成績を評価し、総合計 60 点以上を合格とする。</p>				

大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

倉敷芸術科学大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部		学科		年
学生番号		性別	生年 月日	西暦 年	
		男・女		昭和・平成	年
現住所	〒 - Tel ( ) -				
メールアドレス					

\* 履修受付締切日：前期：3月27日(金)まで 後期：9月11日(金)まで

\* 区分(教養/専門)：開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>対面授業科目</b>										
10001	地域デザイン	教養	橋元 純也	2	後期	1~4	定員 10 名	木 13:10~14:40		
10002	メディア・アート論	専門	大森 隆	2	後期	1~4	定員 10 名	火 13:10~14:40		
10003	絵画基礎 I (A)※	専門	原田 よもぎ	2	前期	1~4	定員 10 名 ※「絵画基礎 I (B)」を履修の場合、履修不可	火 13:10~14:40		
10004	絵画基礎 I (B)※	専門	原田 よもぎ	2	前期	1~4	定員 10 名 ※「絵画基礎 I (A)」を履修の場合、履修不可	木 14:55~16:25		
10005	水族育成学	専門	山野 ひとみ	2	後期	3~4	定員 10 名	火 10:50~12:20		
10006	生活習慣病予防	専門	市川 勉	2	前期	3~4	定員 5 名	水 13:10~14:40		
10007	動物行動学	専門	唐川 千秋	2	前期	3~4	定員 10 名	木 9:10~10:40		
10008	医学概論	専門	渡部 俊幸 他	2	前期	1~4	定員 10 名	火 9:10~10:40		
10009	解剖学	専門	野島 望	2	後期	1~4	定員 10 名	火 9:10~10:40		

※どちらかの科目のみ履修可能

写真提出枚数 (カラー、4 cm × 3 cm、裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	0 枚	0 枚	0 枚